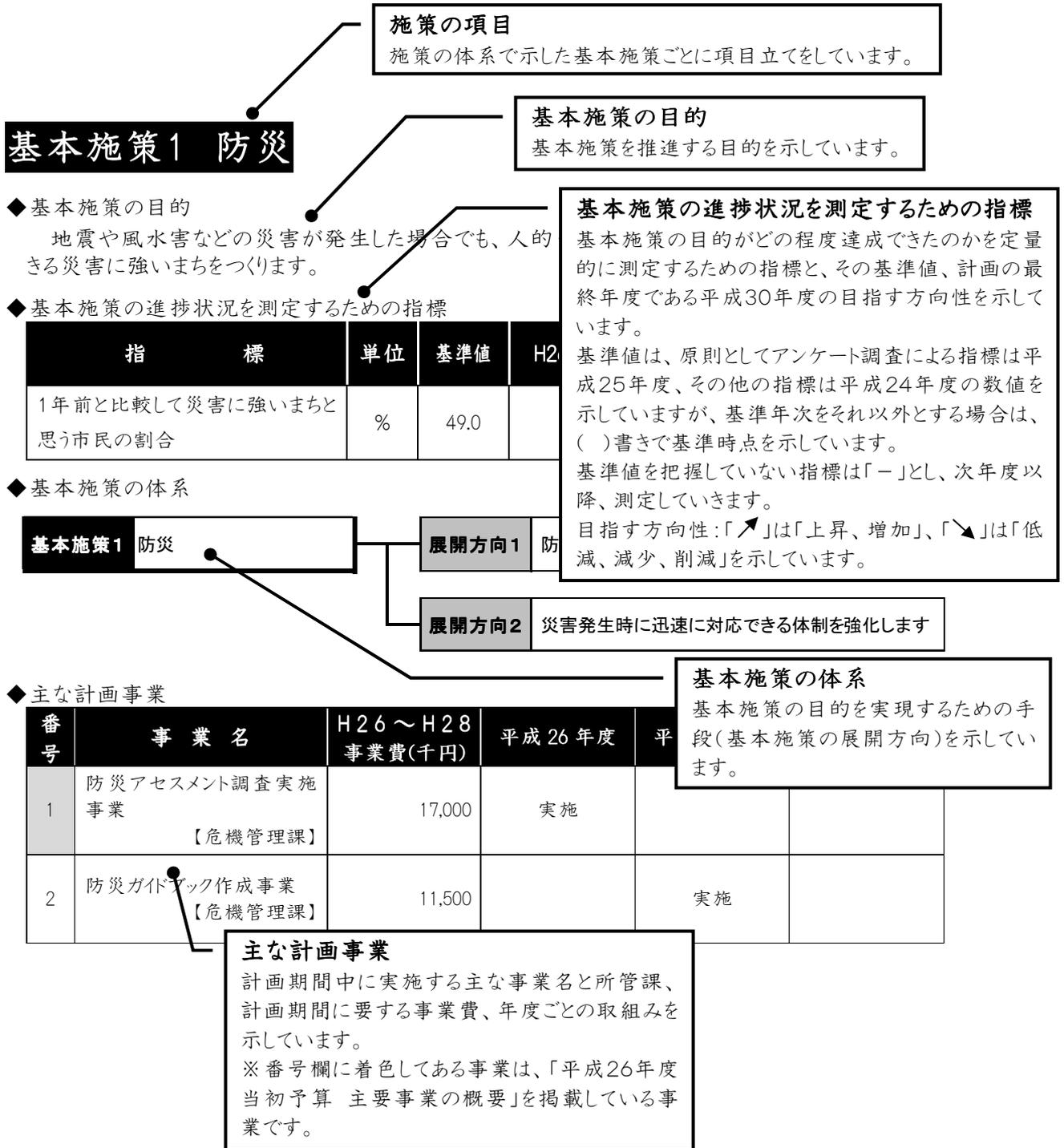


## ■ 分野別計画編(Ⅰ～Ⅵ)の見方





## 第1章 安全・環境

1. 防災
2. 生活安全
3. 消防・救急
4. 環境
5. ごみ対策

## 基本施策1 防災

**担当** 危機管理課

### ◆基本施策の目的

地震や風水害などの災害が発生した場合でも、人的・物的な被害を最小限に止めることができる災害に強いまちをつくれます。

### ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す 方向性
1年前と比較して災害に強いまちと 思う市民の割合	%	49.0					↗

### ◆基本施策の体系



### ◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	防災アセスメント調査実施 事業 【危機管理課】	17,000	実施		
2	防災ガイドブック作成事業 【危機管理課】	11,500		実施	

新規

防災アセスメント調査実施事業市長公室 危機管理課  
(H26.4.1～ 総務部 危機管理課)

- 1 予算額 17,000千円
- 2 目的 総合的な災害対策を推進するため、平成9年に作成した防災アセスメント調査について、現状に即して更新します。
- 3 効果 自然条件、社会条件、土地利用の変遷などの現状把握、被害想定を行い、災害対策方針の検討をすることにより、総合的な災害対策を推進することができます。
- 4 事業概要 ①災害素因調査(自然、社会)  
②地震・風水害被害想定  
③防災課題の整理  
④災害シナリオの作成  
⑤災害対策方針の検討  
⑥有識者の監修 等



活断層

## 基本施策2 生活安全

**担当** 市民安全課

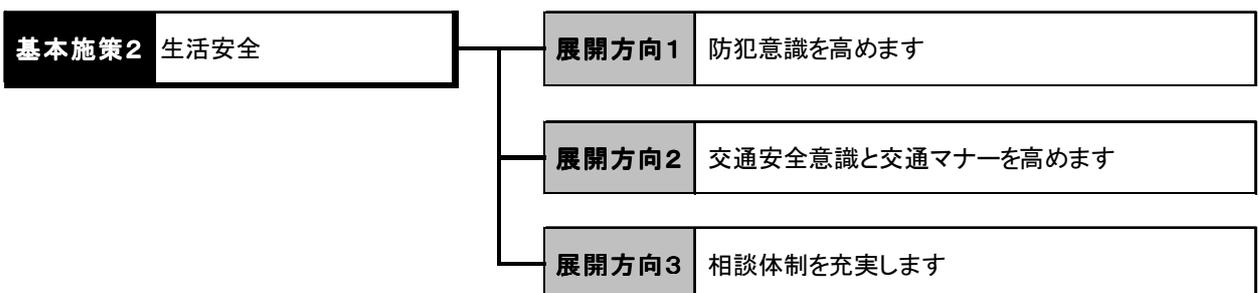
### ◆基本施策の目的

市民一人ひとりが犯罪、交通事故や消費者トラブルなどに巻き込まれることなく安全で安心して暮らせるまちをつくります。

### ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
犯罪発生率	件/ 千人	14.9 (H24年)					↓
交通事故発生率	件/ 千人	7.3 (H24年)					↓
相談満足度	%	—					↑

### ◆基本施策の体系



### ◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
3	防犯灯設置補助事業 (防犯対策事業) 【市民安全課】	60,000	実施	⇒	⇒
4	防犯対策巡回警備事業 (防犯対策事業) 【市民安全課】	64,800	実施	⇒	⇒
5	防犯カメラ設置補助事業 (防犯対策事業) 【市民安全課】	30,000	実施	⇒	⇒
6	交通安全推進事業 【市民安全課】	21,000	実施	⇒	⇒

## 防犯対策事業

環境交通部 交通防犯課  
(H26.4.1～ 市民生活部 市民安全課)

1 予算額 121,300千円

2 目的 地域、市民参加の防犯対策を進め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

3 効果 地域の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪が起きにくい環境整備ができます。

### 4 事業概要

#### 防犯対策巡回警備委託 21,600千円

警備会社に委託し、青色回転灯装着車により市内の深夜パトロールを行います。

#### 防犯灯設置事業費補助金 20,000千円

区が設置する防犯灯設置費を**全額補助**します。

#### 防犯灯維持管理費補助金 56,000千円

電気料金、修繕費とも**全額補助**します。



#### 防犯カメラ設置費補助金 10,000千円

- ① 商業施設の駐車場・駐輪場
- ② マンション・アパートの駐車場
- ③ 月極駐車場において、防犯カメラ・録画機の設置  
に対して助成します。

#### 安全安心まちづくり活動補助金 10,700千円

安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域で、防犯パトロールなどの活動をしている団体(10名以上で組織されるもの)に対して支援します。

- ★補助限度額 ・新規団体 **上限20万円**
- ・継続団体 **上限10万円**

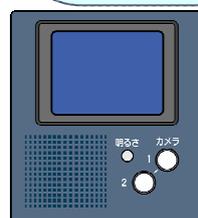
※自動車を利用する場合は**上限30万円**

#### 防犯対策補助金 3,000千円

家庭で行う防犯対策(防犯鍵、センサーライト、防犯フィルム、防犯カメラ等)に助成します。

★補助限度額

**費用の5分の4 限度額1世帯当たり1万円**



## 基本施策3 消防・救急

担当 消防総務課・予防課・消防署

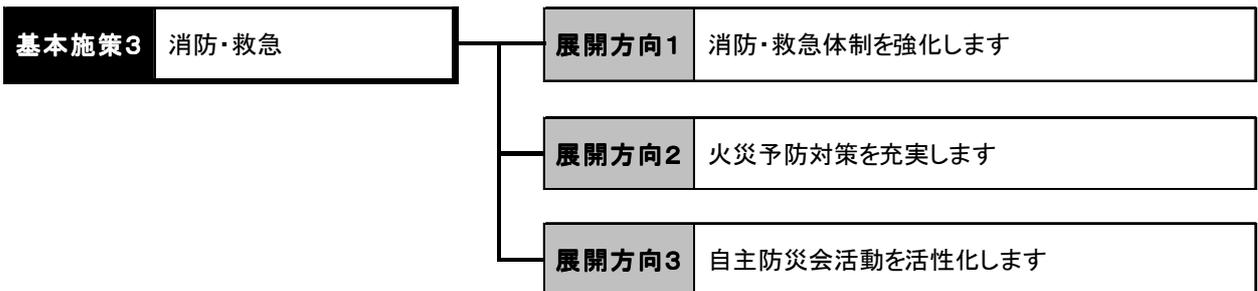
### ◆基本施策の目的

消防・救急体制および防火安全対策を強化し、市民の生命、身体および財産を災害や事故からしっかりと守ります。

### ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す 方向性
火災による死亡者数	人	3 (H24年)					↓
出火率	件/ 万人	4.7 (H24年)					↓
救命率	%	40.0 (H24年)					↑

### ◆基本施策の体系



### ◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
7	消防指令センター整備事業 【消防総務課】	2,706,000	工事	⇒	
8	自主防災会活動支援補助事業(自主防災体制整備事業) 【消防総務課】	19,500	拡充実施	⇒	⇒
9	愛知県消防操法大会開催事業(消防団活動事業) 【消防総務課】	5,600	実施		

## 消防指令センター整備事業

消防本部 消防総務課

- 1 事業年度      平成24年度～平成27年度
  
- 2 予算額        1,364,324千円
  
- 3 目的            消防通信指令に関する事務を共同して管理、運用することにより、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、消防事務の高度化による消防力の強化を図ります。
  
- 4 効果            設置費用や維持管理費用の低減化、消防相互応援協定による応援出動を迅速に行うことが可能となります。

5 事業概要

6消防本部(小牧市、犬山市、江南市、岩倉市、丹羽広域事務組合及び西春日井広域事務組合)が、共同で消防通信指令業務を運用するための施設等を整備します。



事業	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
デジタル消防救急無線設備整備事業	基本計画	実施設計	整備事業	整備事業	運用開始
高機能消防指令設備整備事業		実施設計	整備事業	整備事業	
消防指令センター施設整備事業		基本設計 実施設計	建設事業		

## 拡充

自主防災会活動支援補助事業

消防本部 消防総務課

- 1 予算額 6,872千円
- 2 目的 各自主防災会による防災活動の活性化及び防災思想の向上を図り、地区防災訓練等に助成し、自主防災体制の整備強化を図ります。
- 3 効果 住民の自助・共助の能力が向上します。
- 4 事業概要 自主防災会が地区防災訓練等を実施した場合に、補助金を交付し、自主防災体制の整備強化を図ります。



新規

## 愛知県消防操法大会開催事業

消防本部 消防総務課

- 1 予算額 5,670千円
- 2 目的 消防団員の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の進歩充実に寄与します。
- 3 効果 この大会には、愛知県の消防関係者や消防団員の家族が多数参加及び参観していることから、小牧市の物産展を同時開催し、参加・参観者に対して小牧市を広くPRします。
- 4 事業概要 小牧市総合運動場(陶グラウンド)において、第59回愛知県消防操法大会を開催します。



第59回  
愛知県消防操法大会  
小牧市開催



## 基本施策4 環境

**担当** 環境対策課

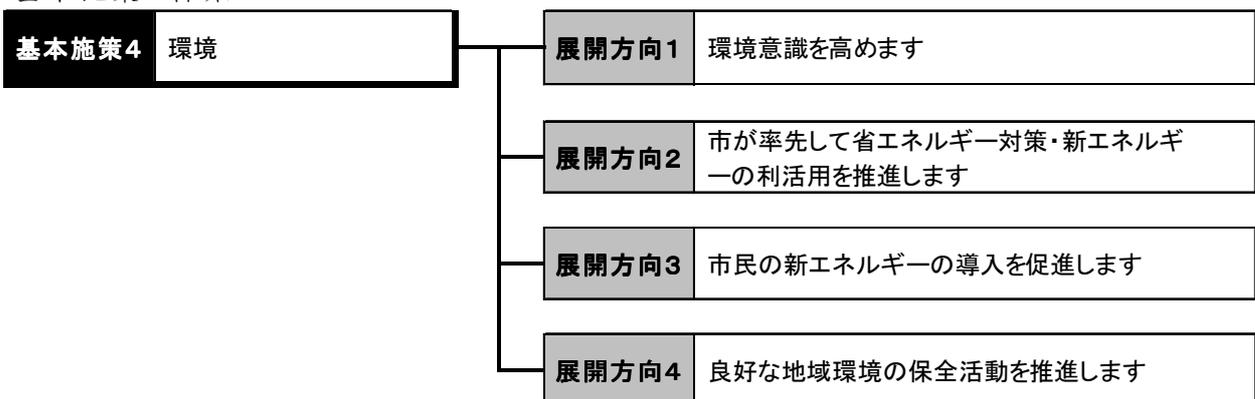
### ◆基本施策の目的

環境への負荷の少ない低炭素社会の実現などにより、地域環境の保全に寄与するとともに、大気や水、土壌などの身近な地域環境を良好な状態に保持し、自然の恵みに満ちた快適で住みよい生活環境を創造します。

### ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
市内の電力消費量	MWh	1,638,668					↓
需要戸数あたりの都市ガス消費量	m <sup>3</sup> /戸	405					↓
市内環境指標項目の環境基準達成率(上から大気、水質、土壌、騒音の順)	%	66.7					↑
		100					100
		100					100
		100					100

### ◆基本施策の体系



### ◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
10	新エネルギー導入助成事業 【環境対策課】	180,000	実施	⇒	⇒

## 新エネルギー導入助成事業

環境交通部 環境対策課  
(H26.4.1～ 市民生活部 環境対策課)

- 1 予算額 60,000千円
- 2 目的 新エネルギーを利用したシステムを設置する方に対し、補助金を交付し、市民の環境にやさしいエネルギーの利用を支援します。
- 3 効果 循環型社会の構築及び地球温暖化防止に向けての市民意識の高揚を図ることができます。
- 4 事業概要 住宅用太陽光発電システム、住宅用太陽熱高度利用システムの設置費を補助します。

### ○住宅用太陽光発電システム (補助額1kW当たり4万円・上限16万円)

太陽の光エネルギーを受け、太陽電池で発電します。

### ○住宅用太陽熱高度利用システム

#### ・強制循環型(補助額5万円)

太陽熱集熱器と蓄熱槽を分離し、その間を不凍液などの熱媒が入った配管でつなぎ、この熱媒をポンプで強制的に循環させながら、蓄熱槽内に貯めた水を温め、お湯を作ります。

#### ・自然循環型(補助額2万円)

太陽熱集熱器の上部に貯湯槽が接続されており、水栓に比べ高い位置の屋根上に設置します。

貯湯槽に給水された水は下部の太陽熱集熱器へ流れ込み、太陽熱で暖められ比重が軽くなることで、貯湯槽へ戻りお湯が蓄えられます。



小牧市環境キャラクター  
**エコリン**



## 基本施策5 ごみ対策

**担当** 廃棄物対策課・リサイクルプラザ

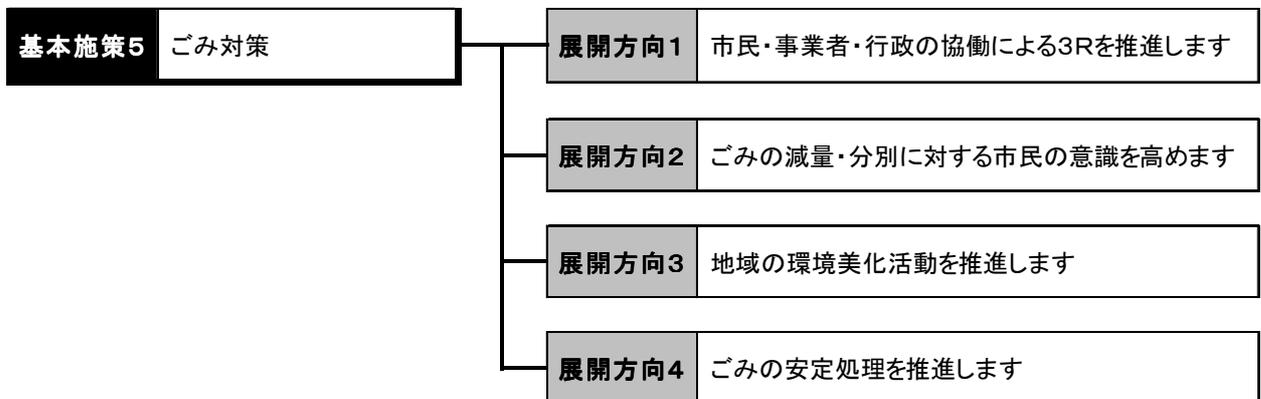
### ◆基本施策の目的

市民・事業者との適切な役割分担のもと、協働で資源循環型社会を構築するとともに、ごみのポイ捨てなどがない快適で清潔な生活環境を確保します。

### ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
1人1日あたりのごみ排出量(事業系ごみ含む)	g	838					↓
不法投棄されたごみの環境センターへの搬入量	kg	60,420					↓

### ◆基本施策の体系



### ◆主な計画事業

番号	事業名	H26～H28 事業費(千円)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
11	小牧岩倉衛生組合建設費負担金 【廃棄物対策課】	1,240,000	実施	⇒	⇒
12	資源回収ステーション施設整備事業(ごみ減量推進事業) 【リサイクルプラザ】	4,400	実施	⇒	⇒
13	クリーンセンター施設整備事業 【廃棄物対策課】	681,296	工事	⇒	⇒

## 拡充

## 資源回収ステーション施設整備事業

環境交通部 リサイクルプラザ  
(H26.4.1～ 市民生活部 リサイクルプラザ)

- 1 予算額 1,498千円
- 2 目的 決められた収集日に集積場へ資源を排出できなかった場合や、雨の日の古紙・古布の収集を行えない場合の利便性を図ります。
- 3 効果 小牧原新田地内にある施設に加え、新たにリサイクルプラザに整備することで、市民の利便性が向上します。
- 4 事業概要 リサイクルプラザの敷地内に資源(プラスチック製容器包装、空きびん、空き缶、金属類、ペットボトル、古紙・古布、蛍光管類、廃食用油)の持ち込みができる場所を開設します。

開始時期:7月～(予定)

受付期間:毎週土曜、日曜日のみ

(ただし、1/1～1/3を除く)

午前8時30分～午後5時



## クリーンセンター施設整備事業

環境交通部 廃棄物対策課  
(H26.4.1～ 市民生活部 廃棄物対策課)

- 1 事業年度 平成25年度～平成26年度
- 2 予算額 591,809千円  
(総額 849,443千円)
- 3 目的 市内で発生するし尿及びし尿浄化槽汚泥を適切に処理します。

#### 4 事業概要

現在、市内で収集されたし尿は小牧市クリーンセンターで、し尿浄化槽汚泥は小牧市し尿浄化槽汚泥処理施設で、それぞれ処理を行っています。

し尿浄化槽汚泥処理施設は、稼動開始から35年以上経過し、老朽化が進み維持費が増大してきています。このため、小牧市クリーンセンターに統合し、より効率的にし尿やし尿浄化槽汚泥の処理を行うため、小牧市クリーンセンターの改修を行います。

平成26年度は、平成25年度に引き続き改修工事を行います。

(平成27年4月稼動開始予定)

